

堺区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
堺区ブックスタート事業		堺区役所企画総務課・堺保健センター・ちぬが丘保健センター・中央図書館			
事業目的	事業効果	活動指標	H30	R1	R2
乳児とその保護者を対象に、絵本に触れることで子どもに夢をあたえる。また、絵本を読み聞かせることで親子が心を通じ合わせ、その絆を深め、保護者に子育ての喜びを感じてもらうためのきっかけづくりを行う。	乳児と保護者に絵本の読み聞かせを行い、絵本を配付することにより、保護者に読み聞かせの効用と親子のふれあいの大切さを啓発する。	配付人数 <small>(堺保健センター・ちぬが丘保健センターで4か月児健診を受診した子どもが対象)</small>	1045	867	1006
		配付率	100%	100%	100%
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○	まちづくりにおいて、次世代育成支援は不可欠である。	△	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、ボランティアと図書館職員による対面の読み聞かせを一度も行えなかった。 配付する絵本については、ボランティアや図書館職員と相談し、選定している。	○	サカエル&みそさかいのトートバッグに絵本を入れて配付をしている。保護者の方とのコミュニケーションもうまれ、サカエル&みそさかいのPRもできている。
○		○		○	絵本を介して、親子の絆をより深めるとともに、本のある生活の契機となる。受益者自らがこの機会を活かすことにより、効率性は高まるものと考えられる。 また、リーフレットに堺区公式ツイッターの案内を掲載することで、子育て世代に対し、堺区のPRも行えた。
⑤自立発展性	総合評価				
△	配付する絵本・エコバックの購入やパンフレットの作成が必要である。 読み聞かせについては、ボランティアが主導となって自立発展できる可能性がある。	○	絵本とともに配付するリーフレットに、堺区公式ツイッターの案内を掲載することで、徐々にフォロワーが増加しており、堺区に興味を持っていただくことにつながっている。 配付している絵本を既に持っている方に対して、他の絵本(昔配付した絵本)の中から選べるように配慮することで、絵本の重複を防ぐことができている。 ボランティアや図書館職員と相談し、子どもと保護者に喜んでもらえるような絵本を選定し購入した。新しい絵本を、10月から配付しており、好評である。		
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	新型コロナウイルス終息の目途がつけば、ボランティアと図書館職員と連携をとり、読み聞かせ再開について話を進めていく。 サカエル&みそさかいのトートバッグを利用した絵本の配付は、保護者の方に堺区のキャラクターPR等に有効であるので、来年度も継続する。				